

東京都立南多摩中等教育学校 教科シラバス

5 学年 家庭基礎 単位数：2 単位

教科書：家庭基礎 2 1（実教出版）

副教材：ニュービジュアル家庭科 2 0 2 1 資料＋成分表（実教出版）

学習目標

本校の家庭基礎の目標

家庭基礎では、自立の意味と、自立の基礎となる食・衣・住、そして消費生活についての生活の知識や技術を習得するとともに、その背景にある社会や文化、経済のしくみを学びます。

特に、自らの生活の自立とその意義を理解し、自ら学習することができることを目指します。

生活のなかで、課題を発見し、問題点の調査・研究・解決策を考え、それを実践する態度が大切です。

第 5 学年の目標

家庭生活に関する基礎的な知識や技術、実践力を身につけ、生活の中の課題を解決することができる。

計画的、自主的に学習課題に取り組み、見通しをもって活動することができる。

学習方法

授業では

- ・基礎的な知識を学ぶ 授業の目標を理解し、各自で積極的に考え、ノートを記入しながら、その時間の内容を確認するようにしましょう。
- ・基礎的な技術を修得する 実習授業では、合理的な生活技術を身につけ、実習作業に積極的に取り組むことが大切です。実習の準備をしっかりと行い、作品や、実習レポートを提出することで確認します。

課題学習では

- ・自分の生活を見つめ、課題や問題点を調べ、解決法を考えます。その中で、学んだ知識や技術を実践的に生かすようにしましょう。レポート作成や課題発表などを行います。

評価の観点・方法

観点① 生活・技術への関心・意欲・態度	自分や家族の生活に関心を持ち、意欲的に学び、技術を修得し、実践しようとする。				
観点② 知識・理解	人の生活や環境に関する知識を身につけ、自分の生活と関連づけて考え、説明することができる。				
観点③ 生活の技能	実習に際し、必要な用具を適切に使用し、安全に配慮しながら、適切な作業ができる。				
観点④ 創造・工夫	学習及び実習の作業手順や時間を見通して、自分なりの方法を考え、工夫することができる。				
	評価の方法\観点	①	②	③	④
	学習状況観察	○	○	○	○
	提出物	○	○	○	○
	実験・実習の技能・実践	◎		◎	◎
	定期テスト 小テスト		◎		

学習内容

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項他
1 学 期	・ 4つの自立の意味と、自立の基礎となる食・衣・住・消費生活についての生活の知識や技術を習得する。 ・ 食生活の意義を理解し、自ら調理する技術習得を目指す。	・ 青年期と自立 ・ 性的自立の意義 ・ 生活的自立と社会的自立 ・ 現代の食生活の問題 ・ 栄養素のはたらきと食品の栄養 ・ 調理の基本 ・ 世界の料理を知る（オ） ・ 食品の選択	
2 学 期	・ 食生活、衣生活、住生活に関する基礎的な知識や技術、実践力を身につけ、生活の中の課題を解決することができる。 ・ 計画的、自主的に学習課題に取り組み、見通しをもって活動することができる。	・ 食品の安全性と持続可能な食生活 ・ 衣服の選択と機能、衣服の安全 ・ 世界の衣服を知る（オ） ・ 衣服の材料と管理 ・ 衣服製作 ・ ライフスタイルと間取り ・ 住まいの安全・安心 ・ 世界の住居を知る（オ）	
3 学 期	・ 保育、消費生活に関する基礎的な知識や技術、実践力を身につけ、生活の中の課題を解決することができる。 ・ 計画的、自主的に学習課題に取り組み、見通しをもって活動することができる。	・ 子どもの発達と保育 ・ 子育ての社会支援 ・ 遊びの中で育つ子ども ・ 多様化する消費社会と消費者の問題 ・ 消費者トラブルと救済のしくみ	

学習のアドバイス

- ◇ 自分の生活や家族の生活に関心を持とう。
- ◇ 学んだ知識や技術を生活の中で生かしてみよう。
- ◇ 見通しをたて、自分なりの課題をもって学習し、実習に取り組もう。
- ◇ 新聞を読み、社会の事象に関心を持とう。
- ◇ 地域や日本の生活文化に目を向けてみよう。